

第9回地域創生・人口減少対策本部会議

○日 時：令和元年6月3日（月）9：28～9：35
（第90回新生ふくしま復興推進本部会議終了後）

○場 所：第一特別委員会室

【鈴木副知事】

それでは、ただいまから、第9回地域創生・人口減少対策本部会議を開催します。
まず、議題（1）、議題（2）について、企画調整部長からまとめて説明をお願いします。

【企画調整部長】

平成27年12月に策定した「ふくしま創生総合戦略」の取組状況についてご説明します。

資料1をご覧ください。

左側の「I 基本的な考え方」でございますが、本県では、目指すべき将来の姿として、「2040年に総人口160万人程度の確保を目指す」こととしております。

この目指すべき将来の姿を実現するため、中央の4つの基本目標を柱として、右側の7つの重点プロジェクトに集中的に取り組んでいるところです。

資料2 をご覧ください。

「福島県人口ビジョンに関する動向」でございます。

上のグラフは、本県人口の「将来推計」と「現状」の推移です。

赤の点線囲みは本年3月1日現在の状況であり、「目標値」約185万人に対し、「現状値186万5千人と目標を上回っております。

左下のグラフは「自然動態」の推移であり、年間約1万人で推移しているところでございます。右のグラフは、「社会動態」の推移であり、震災前の水準で推移しているところでございます。

資料3 をお開きください。

「ふくしま創生総合戦略の成果目標等の達成状況」でございますが、本年4月15日現在の4つの基本目標における成果目標の達成状況につきましては、A評価が2つ、B評価が4つと概ね順調に推移しているところでございます。

資料4 をお開きください。

次期戦略の策定の考え方についてご説明させていただきます。

まず、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019 骨子案」の概要でございます。

右側は今年度までの5年間の取組、左側は来年度からの第2期、5年間の取組であります。

第2期においては、第1期の枠組を維持しつつ、新たな視点として、「民間との共働」や「人材を育て活かす」などが盛り込まれております。

こういった動きを踏まえまして、本県の「第2期ふくしま創生総合戦略」につきましては、こうした新たな視点も取り入れながら、本県の魅力や強みを最大限にいかし、福島ならではの地方創生を更に進める計画としてまいりたいと考えております。

策定スケジュールにつきましては、有識者会議の意見を頂きながら、年内を目途に素案をまとめ、パブリックコメント・市町村からの意見等を踏まえ、本年度内に策定してまいります。

説明は以上です。

【鈴木副知事】

ただ今の説明に関し、何かありますか。
最後に、知事からお願いします。

【知事】

日本全体の人口減少や東京一極集中が継続する中、本県の人口減少の幅は大きく、全国的に見ても厳しい状況にあります。

その中で、地方創生・人口減少対策を着実に進めていくためには、これまでの取組の効果検証を踏まえつつ、「福島ならではの」の視点で福島にしかないオンラインを見つけ出し、磨き上げ、国内外に発信する取組を総合的に展開していくことが重要です。

各部局において「知恵」と「工夫」を最大限にいかしながら、市町村や関係の皆さんと連携しながら、これまでの取組を進化させていってください。

【鈴木副知事】

以上で、地域創生・人口減少対策本部会議を閉じます。